

令和 6 年度

小規模多機能事業所 木もれ陽

サービス評価

◆外部評価

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）・・・(地②-1～6)

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		1

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】 ※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見 ・共有シートの追記は朱字記入など工夫されていると思います。 ・取組み結果に対する考察がされており次の改善計画が明確化されている。</p>
<p>【前回の改善計画】 ・情報共有のあり方について職員の意見、評価を毎月の職員会で協議する。 ➡不明であった点や改善点が明確となり、目的意識を持って業務に取り組む事が出来たと職員からは概ね評価を得ている。 ※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見 ・問い合わせをしてもスムーズに回答を頂けるので、情報共有が出来ているものだと思います。 ・職員間で情報共有を図る事はとても大切な事です。お忙しいとは思いますが、今後も情報共有を図って頂き、質の高いサービスを提供して頂けたらと思います。</p>
<p>【次回までの具体的な改善計画に対する意見】 ※次回までの改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p>
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】 ・取組結果に対する考察がされている為、次の改善計画が明確化されていると思います。 ・研修が多数ある事から職員の方が様々な情報を得られる状況であると思いました。 ・「生活歴・生活習慣シート」の作成状況の確認や地域交流も図られており良いと思う。</p>
<p>【改善計画】 ・毎月の職員会で自己評価の出来ていない項目を中心に職員に確認しながら評価や研修等を行う。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	1	

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・環境的にどのような事を行っているか不明ですが、地域活動をされており事業所に入りやすい雰囲気ではあると思います。

・

【前回の改善計画】

・普段の業務の中で不備に気付ける様に、福祉用具（車椅子等）、設備・防災点検を隔月で別職員が行う。

➡チェック項目を基に毎月別職員で行った結果、多くの職員が携わることで設備の点検方法や災害時、異常時の項目を知る機会に繋がった。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

・点検項目を理解出来ているか気になりましたが、チェック項目を基に確認されている事が分かりました。

・毎月点検により不備に気づき、早期対応を図る事で利用者の方々にとって快適に過ごせる環境作りに繋がっていると思います。

・計画通り実施出来ていると思います。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

・いつ来ても職員さんが素早く、温かく迎えて下さり、雰囲気も良くとても来やすいです。

・訪問するとすぐに玄関に出迎えられ笑顔で対応して下さるので出入りしやすい雰囲気を感じました。

【今回の改善計画】

・業務の中で不備に気付けるよう今後も福祉用具（車椅子等）、設備・防災点検を隔月で別職員が行っていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	職員はあいさつできていますか？	7		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4	2	1
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	7		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6		1

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所の方に挨拶が出来ている。 ・地域行事への参加のみならず、ボランティアの受け入れと積極的に関わりを持つ事が出来ている。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌を年2回(4月・10月)発行し町内会の回覧板及び日進地区公民館に配布する。 ➡発行時期にズレがあるが、予定通り年2回発行予定。(次回3月)町内会の回覧板にも配布する。 ・昨年度より開催している「木もれ陽カフェ」を今年度は定期的(毎月第2木曜日)に開催し、地域の方との交流を図る。 ➡南地域包括支援センターの協力のもと毎月予定通り開催した。同日に日進地区内で地域交流イベントが開催されていた事もあり、来客数が少なかった。 <p>※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木もれ陽カフェに関してはもう少し周知が必要。
<p>【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加のみならず、ボランティアの方の受け入れも行い、多くの方と関わりを持つよう心掛けられたと思います。 ・地域行事へ参加をする為に、人員配置の工夫まで成されている事が分かりました。 ・木もれ陽カフェで地域の方に木もれ陽を知っていただくきっかけになる取組みだと思います。次年度は曜日の変更や内容についても検討が必要かと思います。
<p>【改善計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「木もれ陽カフェ」の開催日の変更と内容の充実を図り、地域の方との交流を図る。 ② 職員に偏りなく地域のイベントや行事へ参加する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	7		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	2	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	1	2

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Cの項目と被っている感じがした。 ・NO2に関しては少なくとも運営推進会議で行われている。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活歴・生活習慣シート」を作成する。今までの生活歴や地域資源等、ご家族に作成を依頼。主に各担当が完成までの作成支援を行う。 ➡ 全登録者の6割作成完了。今年度中に完成させる。作成後順次本人のやりたいこと、行きたい場所など支援に取り入れている。 <p>※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの外出や地域のイベントに積極的に参加していると思う。 ・今後も同様の取組みを継続して頂きたい。
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地域は移り住んできた人や、マンション住まいの方が多いです。そのため町内会に加入されていない方も多く、関係性も希薄であり民生委員もいないという地域性から住民の情報収集を行う事は難しい状況です。 ・今年度中に「生活歴・生活習慣シート」をすべて完成して頂き、これまで以上にご利用者にとって懐かしく、微笑ましく感じられる場への支援に繋げられる事を期待しています。
<p>【改善計画】</p> <p>「生活歴・生活習慣シート」を活用した外出計画を立案し実施していく。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが分かりやすく説明されていますか？	7		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3	3	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7		

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回、初めて会議に参加したが、取り組み等、分かりやすく説明していた。 ・会議の中では、かなり具体的に活動の状況が報告されている。
<p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議題を明確にしてご意見を募る。 <p>➡「運営推進会議 議題一覧」を作成し議題に沿った会議開催が行えた。</p> <p>※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間議題に沿って会議を行っていたと思う。 ・地域に関する話題を取り上げ会議内で話し合う機会を持てたと思う。
<p>【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木もれ陽カフェに対する周知方法について運営推進会議の場で協議し、民生委員定例会での周知と実用性のある意見が出ている。 ・N02に関してですが、事業所自ら地域の心配の方等について把握する事は負担が大きく困難な事であると思います。相談があった時に速やかに会議にて協議し、対応する事だけでも十分役割を果たせると思います。 ・毎回議題に沿って会議を開催しており、事業所の取り組みを知る機会となり勉強させて頂きました。
<p>【改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議題一覧に則り、委員メンバーと協議、検討を行い改善に繋げていく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	1	
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	2	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		6	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・No.2 地域の自主防災への出席がなかった。

【前回の改善計画】

運営推進会議の議題で防災について具体的に話し合う機会を設ける。

⇒運営推進会議の議題一覧に沿って会議開催を行った。7月に防災・災害対策について話し合いを行った。

- ・地域自主防災への参加

⇒ 回覧板で日時について把握していたが、今年度は事業所内で発生したコロナのクラスターや職員の年度途中の異動等により公休消化に支障をきたした為、職員を参加させる事が難しい状況であった。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・今後も同様の取り組みを継続して頂きたい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

・町内の中で取り決めをされている防災計画があれば、その計画を知りそれに沿って訓練することで町内の緊急時の動きが分かるのではないかと思います。

・毎月の設備点検のみならず、更に職員の防災意識が図られるよう出来る事を推進して頂きたい。

【改善計画】

運営推進会議の議題で事業所の防災計画のみならず、地域の防災計画について確認を行い、必要に応じて協議する。

① 地域自主防災への参加

② BCP(事業継続計画)の訓練、避難訓練等、研修を継続的に行い職員全員が身近に感じながら対応出来る意識を養う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	鳥取福祉会	代表者	松下 稔彦	法人・事業所の特徴	「住み慣れたところで安心して暮らしたい」を理念に掲げ、家庭的で落ち着いた雰囲気の中で出来ることを大切に、自立支援を行ないます。また、積極的に地域との交流を図るとともに、地域の重要拠点となる為に開かれた事業所を目指します。
事業所名	小規模多機能事業所木もれ陽	管理者	山田 昌利		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	1人	1人	1人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報共有のあり方について職員の意見、毎月の職員会議で協議する。	不明であった点や改善点が明確となり、目的意識を持って業務に取り組む事が出来たと職員からは概ね評価を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も情報共有を図って頂き、質の高いサービスを提供して頂きたい。 ・取組結果に対する考察がされている為、次の改善計画が明確化されていると思います。 ・研修が多数ある事から職員の方が様々な情報を得られる状況であると思いました。 ・今後も情報共有を図って頂き、質の高いサービスを提供して頂きたい。 	毎月の職員会で自己評価の出来ていない項目を中心に職員に確認しながら評価や研修等を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	普段の業務の中で不備に気付けるように、福祉用具（車椅子等）、設備・防災点検を隔月で別職員が行う。	チェック項目を基に毎月別職員で行った結果、多くの職員が携わることで設備の点検方法や災害時、異常時の項目を知る機会に繋がった。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通り実施出来ていると思います。 ・毎月点検により不備に気づき、早期対応を図る事で利用者の方々にとって快適に過ごせる環境作りに繋がっていると思います。 ・いつ来ても職員が温かく迎えて下さり、雰囲気もとても良い。 	業務の中で不備に気付けるよう今後も福祉用具（車椅子等）、設備・防災点検を隔月で別職員が行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	①広報誌を年2回（4月、10月）発行し、町内会の回覧板及び日進地区公民館に配布する。 ②昨年度より開催している「木もれ陽カフェ」を今年度は定期的（毎月第2木曜日）に開催し、地域との交流を図る。	①➡発行時期にズレがあるが、予定通り年2回発行予定。（次回3月）町内会の回覧板にも配布する。 ②➡南地域包括支援センターの協力のもと毎月予定通り開催した。同日に日進地区区内で地域交流イベントが開催されていた事もあり、来客数が少なかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・木もれ陽カフェに関してももう少し周知が必要。次年度は曜日の変更や内容についても検討が必要。 ・地域行事への参加のみならず、ボランティアの受け入れも行い、多くの方と関わりを持つよう心掛けられたと思う。 ・地域行事へ参加をする為に、人員配置の工夫まで成されている事が分かった。 	①「木もれ陽カフェ」の開催日の変更と内容の充実を図り、地域の方との交流を図る。 ②職員に偏りなく地域のイベントや行事へ参加する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	「生活歴・生活習慣シート」を作成。今までの生活歴や地域資源等、ご家族に作成を依頼。主に各担当が完成までの作成支援を行う。	全登録者の6割作成完了。今年度中に完成させる。作成後順次本人のやりたいこと、行きたい場所など支援に取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとの外出や地域のイベントに積極的に参加していると思う。 ・今後も同様の取り組みを継続して頂きたい。 ・この地域は移り住んできた人や、マンション住まいの方が多いです。そのため町内会に加入されていない方も多く、関係性も希薄であり民生委員もいないという地域性から住民の情報収集を行う事は難しい状況です。 	「生活歴・生活習慣シート」を作成した外出計画を立案し実施していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の議題を明確にしてご意見を募る。	初回開催時に「運営推進会議 議題一覧」を作成配布。議題に沿った会議開催が行えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間議題に沿って会議を行っていたと思う。 ・木もれ陽カフェに対する周知方法について運営推進会議の場で協議し、民生委員定例会での周知と実用性のある意見が出ている。 ・N02に関してですが、事業所自ら地域の心配の方等について把握する事は負担が大きく困難であると思います。相談があった時に速やかに会議にて協議し、対応する事だけでも十分役割を果たせると思います。 	運営推進会議の議題一覧に則り、委員メンバーと協議、検討を行い改善に繋げていく。
F. 事業所の防災・災害対策	<p>①運営推進会議の議題で防災について具体的に話し合う機会を設ける。</p> <p>②地域自主防災への参加</p>	<p>①➡運営推進会議の議題一覧に沿って会議開催を行った。7月に防災・災害対策委ついて話し合いを行った。</p> <p>②➡回覧板で日時について把握していたが、今年度は事業所内で発生したコロナのクラスターや職員の年度途中の異動等により公休消化に支障をきたした為、職員を参加させる事が難しい状況であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様の取り組みを継続して頂きたい。 ・毎月の設備点検のみならず、更に職員の防災意識が図られるよう出来る事を推進して頂きたい。 	<p>①地域自主防災への参加</p> <p>②BCP(事業継続計画)の訓練、避難訓練等、研修を継続的に行い職員全員が身近に感じながら対応出来る意識を養う。</p>

令和7年度 運営推進会議 議題一覧

開催月	評価No.	テーマ	議題
5月	B	事業所の しつらえ・環境	①新年度から新たに構成員に任命された方々に、事業所の見学を行います。
7月	F	防災・災害対策	①事業所の風水害・地震・火災に関するマニュアルや備蓄品の整備状況について ②地域防災：地域自主防災日程確認 地域の防災計画について確認等
9月	C	事業所と地域のか かわり	①広報誌発行・配布状況の確認 ②地域の困りごと・地域での取り組みについて (地域側からの情報提供) ※下記事例を参照
	E	運営推進会議を 活かした取り組み	
11月	A	事業所 自己評価の確認	事前配布した自己評価、外部評価の作成 ①自己評価(事前配布)の結果について、改善の進め方など意見を募ります。
1月		外部評価	①構成員の皆様へ外部評価をして頂きます。 ②意見を集約し「サービス評価」総括表を作成
3月	D	地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取り組み	①利用者以外のご近所の心配な方について ②地域イベント・行事について
		外部評価	①「サービス評価」総括表を報告し評価を確定します

※地域の困りごとについての事例

運営推進会議に挙げられた課題と解決に向けた行動(事例)

○公園トイレの段差を改修すれば、高齢者や車椅子の人が散歩に出やすくなるのでは…。 ⇒町内会から市役所に相談。スロープがつけられ、施設入所者も地域活動に参加しやすくなった。
○子どもたちに、竹とんぼづくりを教えたい。 ⇒男性の入所者に講師を依頼して、竹とんぼ教室を開催。得意技を活かせる場面づくりと、子どもたちとの交流を実現。
○近所に骨折して外出できなくなった高齢者がいる。買い物に困っているようだ。 ⇒事業所の職員が買い物に出るついでに声をかけ、必要に応じて手伝うことにした。
○日中一人になる高齢者が多く、出かけていく場所がなくて閉じこもっている。 ⇒地域交流スペースを造ってサロン活動を開始。昼食の時間になると、毎日通ってきてくれる人もいる。
○介護サービスを利用するほどではないけれど、認知症や栄養状態が心配な人が増えてきた。 ⇒グループホームで配食弁当を開始。地域の人に有償ボランティアで手伝ってもらって、地域の見守り活動にも繋がっている。
○利用者は毎年、地域のお祭りを楽しみにしているが、車椅子だとなかなか参加し難い面がある。 ⇒御神輿のルートを事業所の前を通過するように変更。町内会がホーム利用者に特等席を用意。

※各月毎の議題については事前にご意見等、情報提供を頂く場合があります。